

令和2年度 上半期 取組状況の総括

1 電気事業

※下線部は第1回経営評価委員会から変更があった部分

上半期の供給電力量については、第1四半期の出水率が平年に比べて低かったものの、第2四半期は降水量とともに出水率が高かったことなどから、全体として計画値を上回りました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部の発電所で定期点検を延期するなどの対応を行いましたが、築川発電所の建設や稲庭高原風力発電所等の再開発、適正な売電収入の確保に向けた容量市場への参加など、予定している取組は概ね計画どおり進捗しています。

【主な成果等】

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

大規模災害等を踏まえた施設の強靱化を図るため、施設総合管理所大物倉庫他建替工事に係る関係機関との協議を進めるなど、施設の計画的な修繕・改良に取り組むとともに、新技術の活用として、ドローンを活用した水圧鉄管の内部点検を実施するなど、保守管理のスマート化に向けて取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、稲庭高原風力発電所の定期点検を5月から8月に延期するなどの対応を行いました。

(2) 再生可能エネルギーの維持拡大

築川発電所の建設において、3月の出水により築川ダムの工事に約1ヶ月の遅れが生じたため、発電所建屋工事など一部の工事着手が遅れましたが、令和3年度の運転開始に向けて、ダム建設事業と連携しながら進めています。

また、稲庭高原風力発電所の再開発については、令和3年度の運転開始に向けて、新風車設置工事において仮設ヤードの造成を進めているほか、胆沢第二、入畑発電所の再開発については、公募型プロポーザル方式により、工事契約の手続きを進めています。

(3) 経営環境の変化に対応した安定経営

新たに創設された容量市場への参加について、4年後の適正な収入の確保に向けてオークションに参加し、応札した全ての容量が約定しました。今後は、応札した供給力を提供できるよう、引き続き適切な維持管理による安定供給に努めます。

また、築川発電所及び稲庭高原風力発電所の売電方法について、地域経済の循環などの観点から、売電先を特定する特定卸供給の検討を進めています。

指標一覧（上半期末時点）

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R2目標値	上半期（計画値/実績値）
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	559	347/425
	発電所建屋等の耐震化率(%)	90	80/80
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	73	68/68
取組内容	進捗状況：11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし		
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R2目標値	上半期（計画値/実績値）
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千 kWh)		
取組内容	進捗状況：6項目中 a 4項目(67%) b 2項目(33%) c なし		

注) 取組状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

(3)経営環境の変化に対応した安定経営		R2目標値	上半期（計画値/実績値）
経営目標	経常収支比率(%)	122	
取組内容	進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の方向】

築川発電所の建設について、一部の工事に遅れが生じていますが、工程等を精査し、運転開始に支障が生じないよう調整を進めます。

稲庭高原風力発電所の既設風車撤去工事について、入札不調となったため、今年中の契約に向けて、再度工事発注に係る手続きを進めています。

水力発電所において、設備不良等による供給停止が2件発生したことから、機器の調整を行うなど、再発防止に努めています。

2 工業用水道事業

上半期においては、良質な工業用水の安定供給に向けて、施設の故障等による給水停止は発生しておらず、施設の健全性維持及び強靱化等に向けた修繕・改良等を計画どおり進捗しています。

また、新たな水需要への対応について、水利権及びダム使用权に係る国への許可申請を行うなど、計画どおり進捗しています。

【主な成果等】

(1) 良質な工業用水の安定供給

施設の故障等による給水停止は発生しておらず、安定供給を継続するとともに、施設の強靱化に向けて、第二北上中部工業用水道配水管更新工事などの工事・委託も計画どおり進捗しています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、職員が罹患した場合の管理体制について整理するなど、適切な保守管理の実施に努めています。

(2) 新たな水需要への対応

新浄水場建設に係る水源確保について、盛岡市と協議を重ね、7月に水利権及びダム使用权に係る国への許可申請を行うなど手続きを進めるとともに、現地工事等も計画どおり進捗しています。

(3) 安定的な事業運営

金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、ユーザー企業の水需要の動向を踏まえながら、電気設備の更新等について検討を進めています。

また、効率的な経営に向けた令和3年度からの第一北上中部工業用水道と第二北上中部工業用水道の事業統合に向けて検討を進めています。

指標一覧（上半 期末時点）

(1)良質な工業用水の安定供給		R2目標値	上半期（計画値/実績値）
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	0/0
取組内容	進捗状況：7項目中 a 7項目(100%) b なし c なし		
(2)新たな水需要への対応		R2目標値	上半期（計画値/実績値）
取組内容	進捗状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		
(3)安定的な事業運営		R2目標値	上半期（計画値/実績値）
経営目標	経常収支比率(%)	100	
取組内容	進捗状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の方向】

新たな水需要への対応については、大手半導体製造企業の北上工業団地への立地に伴い、周辺の道路整備等が計画より早く進んでいることから、配水管工事等の前倒し施工について関係機関との調整を行いながら、整備を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向を注視していきます。

3 組織力向上と地域貢献

上半期においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、局内の集合研修や施設見学会などについて事業の実施方法の見直しを行いました。

また、植樹活動支援については、複数の事業が中止となったことから、更なる支援の拡充のため、二次募集を実施しました。

【主な成果等】

(1) 組織力の向上

新入者安全衛生教育などの局全体の集合研修については、各事業所で分散して実施する方法に見直すなど、感染対策を踏まえて研修を実施しています。

また、施設見学会については、例年のバスツアーから参加者が現地に集合する方法に見直して実施したところ、計102名に参加いただき、92%以上の方から満足または概ね満足の評価をいただきました。

(2) 地域貢献

電力供給を通じた地域貢献については、「いわて復興パワー」による電気料金の割引対象拡大を図るとともに、東北電力(株)、久慈地域エネルギー(株)と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する新たな取組を開始しました。

また、植樹活動支援事業では、13件の支援を見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、6件の事業が中止となったため、二次募集を実施したところ2件の申請がありました。

指標一覧（上半期末時点）

(1)組織力向上		R2目標値	上半期（実績値）
経営目標	新規資格取得者数(第二種電気主任技術者)(人)	2	2
	新規資格取得者数(第1種ダム水路主任技術者)(人)	0	0
取組内容	進捗状況：11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし		
(2)地域貢献		R2目標値	上半期（実績値）
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	
取組内容	進捗状況：6項目中 a 5項目(83%) b 1項目(17%) c なし		

注) 取組状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の方向】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き感染対策の徹底や新しい生活様式の実践などに取り組めます。

※下線部は第1回経営評価委員会から変更があった部分

1 電気事業

（取組の方向性）（1）「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

（1）経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	219	128	347	89	124	559	
	実績	237	<u>188</u>	<u>425</u>				
	達成率	109%	<u>147%</u>	<u>123%</u>				
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	80	80	80	80	90	90	
	実績	80	<u>80</u>	<u>80</u>				
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	68	68	68	68	73	73	
	実績	68	<u>68</u>	<u>68</u>				

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	0	2	2			0
[参考] 〃 の供給停止時間(時間/年)	68	0	<u>10.2</u>	<u>10.2</u>			0
[参考] 〃 の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0	<u>0.024</u>	<u>0.024</u>			0

【特記事項】

- ・ 上半期 の水力、風力、太陽光合計の供給電力量は 425 百万 kWh、達成率は 123% と計画を大きく上回りました。
風力発電について、平均風速が平年を下回り、供給電力量が計画を下回りました。水力発電については、第2四半期に出水率・降水量ともに平年を上回ったことから、全体として供給電力量が計画を上回りました。
- ・ 発電所建屋等の耐震化率について、今年度は岩洞第二発電所及び逆川揚水所の耐震工事を 実施 しており、今年度末には90%になる見込みです。
- ・ 電力土木施設の耐震診断進捗率について、今年度は仙人発電所の水圧管路など2施設の診断を予定しており、今年度末には73%になる見込みです。
- ・ 水力発電所の供給停止について、第2四半期に2件（仙人発電所及び滝発電所、各1件）発生しましたが、速やかに復旧しました。

（2）取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果	
						取組内容
① 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	a		③ 新技術の導入	a		
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	a			イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	a
	ウ 耐震化計画の推進	a			④ 農業用水の安定供給に向けた機能維持	a
② 適切な保守作業の実施	a		イ 河川管理者等との連携	a		
	イ 風水害への備え	a			ウ 発電所共同運転事業者との連携	a
	ウ マニュアル等の見直し	a				

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- ・ 施設の計画的な修繕・改良の実施に向け、工事、委託ともに計画どおり進捗しています。
 - 施設総合管理所大物倉庫他建替工事の発注に向けた建築確認資料作成業務委託 R2.9.1 契約済み
 - 仙人発電所天井クレーン分解点検補修及び改良工事 発注に係る準備中
- ・ 仙人発電所取水塔の耐震化に係る整備方針について、共同事業者(東北自然エネルギー)、湯田ダム管理者と協議を実施しました。

② 適切な保守管理の実施

- ・ 年間スケジュールに基づき修繕・改良工事等に伴う河川法手続き及び協議を実施しています。
- ・ 電気工作物保安規程等に基づき、今年度の定期点検手入れ計画に沿って保守管理を行っています。
また、作業前のTBM-KYの徹底など、安全で適切な作業の実施に努めるとともに、発電所の定期点検に際し、電気主任技術者による保安パトロールを行い、保安の確保に取り組んでいます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部の発電所については、定期点検を延期して対応しています。
- ・ 高森高原風力発電所については、国の定期安全管理審査に向け、年2回の予定のうち1回目の定期事業者検査(9/24~10/19)を実施しています。

③ 新技術の活用

- ・ 局内の特定課題検討グループにおいて、IoT・AI技術の活用について、保守管理のスマート化等に向けた電気事業への展開について検討しています。
- ・ 築川発電所のIP化等に向け、集中監視制御システム改修工事の契約を締結しました。また、水車発電機製作据付工事の受注者と協議のうえ、令和3年1月の現地施工に向け工場製作を進めています。
- ・ スマートフォン、大型モニタ、Webカメラ等を導入し、災害時や故障発生時の新たな情報伝達システムの構築を進めています。
また、空中ドローンを各事業所に配備し、今後の積極的な利活用に向け、運用要領の策定や操作研修を行いました。
- ・ 鉄管ドローンによる鉄管の内部点検(9/23～25)を試行しました。今後、点検結果等を検証し、利活用を検討していきます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- ・ 岩洞ダム共有施設の改良工事(国営岩手山麓農業水利事業)について、岩手山麓農業水利事業所と工事の実施時期等について協議を実施しました。
- ・ 胆沢第二発電所の農業用水にかかる共有施設の改修工事について、昨年度に行った基本設計業務委託の検討成果をもとに事業費等の精査を進め、10月中旬に関係者と協議を実施する予定です。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- ・ 施設の計画的な修繕・改良の実施に向け、工事、委託等の発注管理、進捗管理に努めます。
- ・ 仙人発電所取水塔の耐震化に係る整備方針を決定するため、適用すべき耐震基準等の課題について、引き続き、共同事業者と協議を重ねていきます。

② 適切な保守管理の実施

- ・ 高森高原風力発電所について、令和3年2月の定期安全管理審査の受審に向けて、11月を目途に本年度2回目の定期事業者検査を実施する予定です。
- ・ 河川法手続きについて、引き続き、工事等のスケジュールに合わせて適宜手続きを進めます。
- ・ 2件の供給停止を受け、機器の調整を行うなど、供給停止の再発防止に努めます。

③ 新技術の活用

- ・ 築川発電所のIP化に係る集中監視制御システム改修工事について、令和3年7月の運転開始に向け、施工監理に努めます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- ・ 岩洞ダム共有施設の改良工事を行っている農政局と、工事の進捗状況等について毎月協議・調整を行い、今年度予定部分の工事完了を目指します。

- ・ 供給電力量電源別内訳
- ・ 気象データ
- ・ 供給停止件数の過去平均と原因別比較
- ・ 発電所建屋等の耐震化工事箇所数
- ・ 電力土木施設の耐震診断箇所数
- ・ 電力料収入
- ・ 収入、支出の状況については補足説明資料のとおり

令和2年度 取組状況（3/12）[上半期]

※下線部は第1回経営評価委員会から変更があった部分

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	計画	-				0	
	実績	-					

【特記事項】

特記事項なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 築川発電所の建設	b		②	ア 稲庭高原風力発電所(令和2～3年度)	b	
	イ 新規開発に向けた調査等	a			イ 胆沢第二発電所の再開発(令和2～8年度)	a	
			ウ 入畑発電所の再開発(令和2～7年度)		a		
			エ 再開発の検討		a		

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 新規開発の推進

- ・ 築川発電所の建設について、放水路ゲートの据付が完了しました。また、落石防止対策工事(8/31)を契約し現在工事を進めています。
- ・ 3月の出水によりダム建設工事（護岸工事及び管理用道路工事）に約1カ月半の遅れが生じ、その影響で発電所の現地工事の着手が当初予定していた6月着手から1カ月程度遅れ、7月となりましたが、関連する工事間での工程調整を行い、工事を進めています。
- ・ 新規開発に向けた調査について、既存成果等の再精査のほか現地調査を進めています。

② 再開発の推進

- ・ 稲庭高原風力発電所の再開発に係る新風車設置工事について、6月に受注候補者と契約締結し、地質ボーリングの調査結果を基に風車基礎の設計を実施するとともに仮設ヤードの造成工事を進めています。
- ・ 胆沢第二・入畑発電所の電気設備更新工事について、外部委員を含めた公募型プロポーザル方式の選定委員会で審議し、受注候補者選定の手続きを進めています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

- ・ 築川発電所の建設について、7月の建屋工事及び水車発電機工事に着手し、ダム建設事業と連携しながら進めていきます。
また、落石防止対策工事も着手し、年度内に完成させます。
- ・ 新規開発に向けた調査について、既存成果等の再精査と現地調査により開発の可能性について結果を取り纏めます。

② 再開発の推進

- ・ 胆沢第二・入畑発電所の再開発について、一般送配電事業者への接続検討申し込みに必要な発電施設の仕様を確定するため、第3四半期の契約締結に向けて、工事発注に係る手続きに取り組んでいきます。
- ・ 稲庭高原風力発電所の再開発について、新型コロナウイルス感染症の影響は、現時点において確認されていませんが、主要機器の風車等は海外製品であるため、製作や輸送へ影響する恐れがあることから、今後の工程への影響について情報収集を行います。
また、既設風車撤去工事については、入札不調となったため、今年中の契約に向けて、再度工事発注に係る手続きを進めていきます。

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	122		

【特記事項】

特になし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a		②	ア 業務の効率化	a	
	イ 供給電力量の向上に向けた取組	a			イ 経費の平準化	a	
	ウ 地域新電力との協働・連携	a		③	電力の新たな付加価値の検討	a	

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 適正な収入の確保

- ・ 適正な収入の確保に向けて、供給力（kW 価値）に係る収入を確保するため、電力広域的運営推進機関が運営する容量市場に参加し、応札可能な容量の全てが約定し、供給力に係る収入を最大限確保することが可能となりました。
- ・ 非 FIT 電源の非化石証書化について、本年6月から電力量の認定手続きを開始するとともに、電力供給契約の相手方に対し、非化石価値の受け渡しを開始しました。
- ・ FIT 電源非化石証書について、昨年度に引き続きトラッキング実証試験へ参加することとし、設備登録を行いました。本年8月、今年度1回目の実証試験が行われ、割当てに関する結果報告を受けました。
- ・ 供給電力量の向上に向けた高効率機器の導入について、昨年度実施した仙人発電所ランナ流れ解析業務の成果を踏まえ2号水車ランナ購入仕様を作成し、発注手続きを進めています。

② 経営の効率化

- ・ 業務の効率化に向けて、技術担当課長会議にて「年度別事業実施計画（10か年計画）様式の見直し」「IoT・AI技術の活用」「作業停止計画の策定方法」を特定課題として選定し、特定課題検討グループによる検討を行っています。
- ・ 令和3、4年度の年間作業停止計画について、保守担当課へ照会のうえ計画の取り纏めを行いました。
- ・ 経費の平準化等に向けて、今後の工事・委託事業の精査を行い、年度別事業実施計画（10か年計画）の見直しを実施しています。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- ・ FIT 電源は、一般送配電事業者に売電することが原則となっていますが、地域経済の循環などの観点から、築川発電所及び稲庭高原風力発電所について、特定卸供給により売電する方針を検討しています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 適正な収入の確保

- ・ 電力広域的運営推進機関と容量確保契約の締結（10月末予定）に向け、手続きを進めます。
- ・ 非 FIT 電源の非化石証書化について、毎月の電力量認定及び電力供給契約の相手方への非化石証書の受け渡しを適切に行います。
- ・ 仙人発電所2号水車ランナ購入について、11月を目途に契約を締結するため、令和4年度からの大規模修繕工事に向け、受注者とランナ製作に係る協議を行います。

② 経営の効率化

- ・ 3つの特定課題について、各検討グループでの検討結果を踏まえ、技術担当課長会議において局内の対応方針を決定します。
- ・ 令和3、4年度の年間作業停止計画について、送配電事業者及びダム管理者など関係機関と協議を行い、2月末までに計画の調整を完了させます。
- ・ 10月を目途に年度別事業実施計画(10か年計画)及び長期収支見通しの見直しを行い、経費の平準化に取り組みます。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- ・ 令和3年度の営業開始に向け、築川発電所及び稲庭高原風力発電所の特定卸供給による売電について、年度内を目途に売電先の選定方法の方針を決定します。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0				
参考指標		参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度)		0.6	0.4	0.4	0.4			
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)		7.0	6.99	7.0	7.0			

【特記事項】

- 平成25年5月以降、2,600日以上供給停止が発生しておらず、安定供給を継続しています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容			進捗	成果	取組内容			進捗	成果
①	ア	旧第三北上中部工業用水道加圧脱水機更新	a	△	②	ア	適切な保守作業の実施	a	△
	イ	第二北上中部工業用水道配水管更新	a	△		イ	適切な水質管理の実施	a	△
	ウ	第二北上中部工業用水道天日乾燥床増設	a	△		ウ	トラブル発生時の対応	a	△
					③	新技術の活用	a	△	

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 工事・委託とも計画どおり進捗しています。(工事の進捗状況については以下のとおり)

[第二工水]

- 送水管更新(JR横断部)工事 R2.5.7 契約済み JRとの工程・施工方法について協議中
- 配水管更新(1-1工区)工事 R2.9.8 契約済み
- 天日乾燥床詳細設計業務委託 R2.6.1 契約済み
- 天日乾燥床増設用地等地質調査業務委託 R2.6.15 契約済み R2.8.19 完了 R2.8.26 完了検査済み

[旧第三工水]

- 汚泥脱水機更新(機械/電気設備)工事 R2.7.31 契約済み (機械)
- 3号・4号配水ポンプ補修工事 R2.7.21 契約済み

[北上ろ過]

- 原水流量計ほか更新工事※ R2.9.14 契約済み
- ※ 施工箇所「第二工水」「旧第三工水」「北上ろ過」分を一括発注するもの。

② 適切な保守管理の実施

- 維持管理要領に基づき計画的な点検及び委託業務を実施しています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国からの要請等を踏まえ、工業用水道事業維持管理業務における対応方針を取りまとめ、感染防止や職員が罹患した場合の管理体制について整理しました。

③ 新技術の導入

- 局内の特定課題検討グループにおいて、IoT・AI技術の活用に係る工水事業への展開について検討しています。
- [旧第三工水]凝集剤注入の最適化に向けて、凝集センサー実証試験(9/28~3/31)をメーカーと連携して取り組んでいます。
- 空中ドローンの導入等を検討するため、局内で実施した操作研修に参加しました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 各工事・委託が計画通りに完了するよう、工程管理の徹底に努めるとともに、アの脱水機更新については、国庫補助事業に該当する事業であることから、適正な執行に努めていきます。

② 適切な保守管理の実施

- 改修工事等の実績を踏まえ、必要に応じて維持管理要領の見直しを進めます。(修正が見込まれる年度末を想定)

③ 新技術の導入

- ドローンを活用した建設工事の現場写真の撮影など、その活用の可能性について検討を行い、操作研修を実施し、新技術の導入や今後の動向について情報収集等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

(1) 経営目標、参考指標の状況

設定なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
水需要に応じた施設の整備	a	

【特記事項】 注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

- ・ 水需要に応じた施設の整備について、水源確保に関しては、盛岡市との協議を重ねた結果、6月29日にダム使用権の移転等に関する基本協定書を締結し、7月1日に水利権及びダム使用権に係る国への許可申請を行いました。
- ・ 建設工事等は概ね計画通り進んでいます。大手半導体製造企業の北上工業団地内への立地に伴い、北上市等における周辺の道路整備や土地造成が計画よりも早く進んでおり、それにより新浄水場及び既設の配水管の前倒しの整備やルート変更等の対応が求められています。(各建設工事等の進捗状況等については以下のとおり)

- [浄水場建設事業] > 令和2年3月27日に契約締結済
- > 土木(第一期)工事 ⇒ 仮設工開始 (R2.6.1~)
 - > 建築工事 ⇒ R2.8.24 仮設工開始
 - > 建築工事監理業務委託 ⇒ R2.6.4 契約済
 - > 機械設備(第一期)工事 ⇒ 受注者契約図書の精査中
 - > 電気設備(第一期)工事 ⇒ 受注者契約図書の精査中

- [取水口建設事業] > 今後工事発注
- > 取水口土木積算業務委託 ⇒ R2.6.9 業務完了
 - > 取水口建設土木工事 ⇒ R2.8.31 入札公告、R2.10.1 開札予定
 - > 取水ポンプ棟建築工事 ⇒ 発注前準備
 - > 建築工事監理業務委託 ⇒ 発注前準備
 - > 取水口建設機械設備工事 ⇒ 発注前準備

[配水管布設] > 今後工事発注 > 市道整備前倒しへの対応が必要

《建設事業分》

- > 配水管布設工事(第2工区) ⇒ R2.8.20 契約
- > 配水管布設工事(第1工区) ⇒ 布設工法の検討

《既設浄水場配水管分》

- > [旧北上] 配水管布設工事設計業務委託 ⇒ R2.8.6 契約
- > [旧第三] 配水管本管盛替え工事(東部道路部) ⇒ R2.9.10 契約
- > [旧第三] 配水管本管盛替え工事(JSC前) ⇒ 契約手続中
- > [旧第三] 配水管本管盛替え工事設計業務委託は、「配水管布設工事設計業務委託」と合冊発注

(3) 主な課題と今後の対応

- ・ 水源確保に関しては、10月下旬までに国の許可を得ることを目指しています。また、水源の確保の見通しを踏まえ、12月県議会に条例改正案を提案すべく、関係資料の作成等を進めていきます。
- ・ 建設工事等については、周辺の道路整備等が予定より早く進み、それに伴い、配水管布設工事等において年度を跨いだ前倒し施工を求められており、それらに対応するため、予算を確保し、予定よりも早く契約を締結しています。今後においても、工事全体の工程及び予算の管理を徹底し、施設・設備等の整備に影響が生じないように努めていきます。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (3) 安定的な事業運営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	100		

【特記事項】

特記事項なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a		②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	
	イ 経費の平準化	a			イ 改良費に対する国庫補助金や公営企業債の要望	a	
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a					

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 経営の効率化

- ・ 業務の効率化について、同一箇所・同種の工事等を合冊発注し、経費節減に努めています。
- ・ 経費の平準化について、年度別事業実施計画の見直しに着手し、取りまとめに向けて作業を進めています。
- ・ 効率的な経営のあり方についての検討に関しては、ダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新等の検討を進めています。

② 適切な収入の確保

- ・ 契約水量の維持・増量に向けた取組として、4月から5月にかけてユーザー訪問を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、半数程度のユーザーのみの訪問となりましたが、使用水量の動向などについて情報交換を行いました。
- ・ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望として、6月10日に政府予算要望を行いました。なお、今年度も配水管や脱水機等の増強等の事業について、6月10日に国庫補助金の交付決定通知を受けています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

- ・ 効率的な経営のあり方についての検討に関しては、令和3年度からの第一北上中部工業用水道と第二北上中部工業用水道の事業統合を目指し、令和2年8月26日付けで経済産業省の承認が得られたことから、12月県議会に条例改正案を提案するため準備を進めています。
- ・ また、金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングについては、電気設備の更新等の検討を進めつつ、工業用水道事業全体の収支バランスや将来見通し等を慎重に分析し、施設整備等の実施のタイミングを見極めながら、取組を進めていきます。

② 適切な収入の確保

- ・ 契約水量の維持・増量に向けた取組として、令和元年度決算認定後に再度ユーザー訪問を実施し、工業用水道事業の経営状況等について説明し理解を図ります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向に注視していきます。

・ 実使用水量
 ・ 料金収入
 ・ 収入、支出の状況
 については補足説明資料のとおり

令和2年度 取組状況（9/12）[上半期]

※下線部は第1回経営評価委員会から変更があった部分

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (1)組織力向上

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度	
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人)	計画	2				2	/	
	実績	0	2					
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人)	計画	0				0	/	
	実績	0	0					
参考指標		参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第二種電気主任技術者有資格者数(人)		6	6	8	8			/
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)		6	6	6	6			/
[参考]専門研修受講者数(人)		412	46	137	183			/
[参考]職員満足度調査における満足度(%)		79	/	/	/	/	/	/
[参考]企業局施設見学者数(人)		1,574	5	210	215			/

【特記事項】

- ・ 第二種電気主任技術者の新規資格取得について、実務経験により2名が資格を取得しました。
- ・ 電気主任技術者試験の受験を奨励するとともに、局職員による講習会を実施するなどして支援を行い、二種4名、三種13名が受験しました。
- ・ 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向け、県土整備部のダム点検に同行し、経験を積む取組を行ってまいります。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	a	/	③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	a	/
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	a	/		イ 職員の働きやすさ向上	a	/
	ウ 人材育成・技術継承	a	/		ウ 安全衛生対策の充実	a	/
	エ 経営力の強化	a	/	④	ア 広報活動	a	/
②	ア 災害への対応体制の確立	a	/		イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	a	/
	イ リスクマネジメント	a	/				

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 人材の確保・育成

- ・ 採用予定数の確保に向けて、職員採用の手続きを進めています。
- ・ インターンシップ(8/11~12、8/31~9/2)において4名の受け入れを行いました。
- ・ 県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明(7/10)を行いました。
- ・ 研修検討会議において決定した今年度の専門研修実施計画に沿って、研修を実施しています。(9月末実績183名)

・ 発電設備の保守及び運用における技術力向上のため、昨年度実施した電力供給契約プロポーザルでの提案事項(県の施策推進に寄与する取組の提案)に基づき、東北電力(株)と技術交流会を開催しました。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

- ・ 非常連絡訓練(4/10)及び応急対応訓練(8/27)を実施しました。
また、災害応急対策マニュアルを新年度版に更新しました。
- ・ 夏季安全パトロールを7月に実施し、事故防止対策に取り組んでいます。
- ・ リスクマネジメントについては、新型コロナウイルス感染症の追加などリスクマネジメントの手引きの修正を行い、新たなリスクへの対応を進めています。

③ 職場環境の充実

- ・ 職員育成と組織力向上を目的に、若手職員を対象として局長と職員との意見交換会を6回開催しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要不急の出張等の自粛、手洗いや咳エチケットの励行などの感染防止対策、時差出勤の活用、在宅勤務の実施等に取り組みました。

④ 企業局事業の理解促進

- ・ 企業局施設カードの配布と施設の見学者の受入れについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月28日から6月18日まで休止しました。再開にあたり、感染防止対策として、マスクの着用や手指の消毒等を訪問者に求めることとしています。

また、見学者受け入れの際は人数を制限しています。

- ・ 企業局施設見学会については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、例年のバスツアー方式から、参加者が現地に集合する施設公開方式により開催し、102名に参加いただき、92%以上の方から満足または概ね満足の評価を得ました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- ・ 電気職3名の欠員を解消するため、リクルート活動などの取組により採用計画に基づく新採用職員の確保に努めていきます。

また、土木職については、県土整備部との緊密な連携により、必要な人員の確保に努めていきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

- ・ リスクマネジメントにおいて、新型コロナウイルスへの対応も含めて、取組を進めていきます。
- ・ 災害応急対策マニュアルについて、今後も必要に応じ見直しを行います。

③ 職場環境の充実

- ・ ワーク・ライフ・バランスの確保、職場の働きやすさ向上について、昨年度実施した職員満足度実施結果 やコロナ禍における業務の効率化等について、知事部局等と連携しながら、具体的な取組の実施方法について検討していきます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症予防対策の徹底や新しい生活様式の実践などに取り組みます。

④ 企業局事業の理解促進

- ・ 企業局の認知度向上及び理解促進を図るため、知事部局や売電先等と連携したPRの実施や、効果的なPRツールの作成などに取り組みます。

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (2) 地域貢献

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120以上		

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0	0	0			
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0	0	0			
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	44	626	670			
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	1	3	4			

【特記事項】

特記事項なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 小売電気事業者と連携した取組	a		②	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町等向け補助事業)	a	
	イ 一般会計への繰出し	a			イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向け一般会計への繰出し	a	
					ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	b	
				③	水素利活用推進プロジェクト	a	

【特記事項】

注) a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

① 電力供給を通じた地域貢献

- 平成30年度から、東北電力株式会社と連携して取り組んできたいわて復興パワーによる電気料金の割引について、令和2～3年度も継続することとしており、9月末時点で適合事業者数は延べ770件となっています。
- また、4月1日より、久慈地域エネルギー株式会社と連携し、滝発電所で発電したCO2フリーの電力を供給する「アマリングリーンでんき」の取組を実施し、9月末時点で契約者数は12件となっています。
- さらに、6月1日より、東北電力株式会社と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO2フリーの電力を県内企業等に供給する「いわて復興パワー水力プレミアム」の取組を実施し、9月末時点で契約者数は1件となっています。
- 「アマリングリーンでんき」及び「いわて復興パワー水力プレミアム」の契約者には、岩手県企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電気を使用していることを証明する認証書を交付する予定となっています。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- クリーンエネルギー導入支援事業では、9件(うち震災復興関連事業は1件)の交付決定を行ったほか、平成28年台風第10号災害への特別支援についても、対象市町と調整を進めています。
- 植樹活動支援事業では、13件の支援を見込んでいましたが、6件の事業が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、二次募集を実施したところ2件の申請がありました。
(上半期は4件の支援を実施し、うち2件の植樹活動に35名の職員が参加しました。)

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、令和2年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」への一般会計繰出しによる財政支援を実施することとしています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

- いわて復興パワーによる電気料金の割引について、供給可能な電力量に余裕があることから、関係部局と連携しながら対象企業等にPRを行うなど、更なる活用促進を図っていきます。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- ・ 植樹活動支援事業について、温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、新型コロナウイルス感染拡大防止への対策状況を見ながら、支援の拡充等を検討していきます。

③ 水素利活用推進プロジェクト

- ・ 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が行う再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組について、引き続き、検討会議への参加や財政支援などに取り組みます。

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(千 kWh)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	計画	203,814	118,365	322,179	72,821	108,404	503,404
	実績	221,583	<u>179,111</u>	<u>400,694</u>			
	達成率	109%	<u>151%</u>	<u>124%</u>			
風力	計画	14,328	9,019	23,347	15,833	14,834	54,014
	実績	15,109	<u>8,472</u>	<u>23,581</u>			
	達成率	105%	<u>94%</u>	<u>101%</u>			
太陽光	計画	475	405	880	285	288	1,453
	実績	518	<u>444</u>	<u>962</u>			
	達成率	109%	<u>110%</u>	<u>109%</u>			
合計	計画	218,617	127,789	346,406	88,939	123,526	558,871
	実績	237,210	<u>188,027</u>	<u>418,475</u>			
	達成率	109%	<u>147%</u>	<u>123%</u>			

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	75.2%	<u>134.8%</u>	<u>98.3%</u>			
降水量平年比	105.6%	<u>139.0%</u>	<u>126.5%</u>			
平均風速平年比	98.3%	<u>91.7%</u>	<u>95.3%</u> [※]			
日射量平年比	96.4%	<u>88.2%</u>	<u>92.7%</u>			

※データ欠測のため、稲庭高原風力の9月分は高森風力の風速データを準用し、平均風速平年比を算出した。

③ 供給停止 ※件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	<u>1</u>			
設備不良等	2	<u>1</u>			
合計	3	<u>2</u>			

※供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2		
実績	16				
達成率	80%				

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25				
達成率	68%				

令和2年度 取組状況の補足説明資料

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,485	1,309	2,793	1,224	1,297	5,314
	実績	1,518	<u>1,430</u>	<u>2,948</u>			
	達成率	102%	<u>109%</u>	<u>106%</u>			
風力	予算	311	196	507	344	326	1,178
	実績	328	<u>184</u>	<u>513</u>			
	達成率	106%	<u>94%</u>	<u>101%</u>			
太陽光	予算	17	15	32	10	10	52
	実績	19	<u>16</u>	<u>35</u>			
	達成率	109%	<u>110%</u>	<u>109%</u>			
合計	予算	1,813	1,520	3,333	1,578	1,634	6,545
	実績	1,865	<u>1,630</u>	<u>3,495</u>			
	達成率	103%	<u>107%</u>	<u>105%</u>			

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	当初予算額	決算額	
経常収益	6,835		(経常収益=電気事業収益-特別利益)
経常費用	5,609		(経常費用=電気事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	1,226		(経常利益=経常収益-経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千 m^3 、%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
計画	1,818	2,046	3,864	2,146	2,214	8,224
実績	1,630	<u>1,834</u>	<u>3,464</u>			
達成率	90%	<u>89.6%</u>	<u>89.6%</u>			

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	135	141	<u>276</u>	145	149	570
	実績	131	<u>134</u>	<u>265</u>			
	達成率	97%	<u>95%</u>	<u>96%</u>			
ろ過給水	予算	53	54	<u>107</u>	54	52	213
	実績	53	<u>54</u>	<u>107</u>			
	達成率	100%	<u>100%</u>	<u>100%</u>			
合計	予算	188	195	<u>383</u>	199	201	783
	実績	184	<u>187</u>	<u>371</u>			
	達成率	98%	<u>96%</u>	<u>97%</u>			

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	当初予算額	決算額	
経常収益	829		(経常収益=工業用水道事業収益-特別利益)
経常費用	825		(経常費用=工業用水道事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	4		(経常利益=経常収益-経常費用)